



SUCHIURA PUBLIC RELATIONS

広
報

つちうら



◆平成22年1月1日発行◆2010 No.1018

CONTENTS

- 2... 新年のご挨拶
- 4... 特集 土浦今昔ものがたり
- 10... 新春文芸
- 12... まちのフォトNEWS
2009 総集編



あけまして
おめでとうございます

ご挨拶



土浦市長
中川 清

新年、明けましておめでとつございます。
平成22年の初春を市民の皆様と共に迎えられる慶^{よろこ}びを心からかみしめております。

さて、恒例となりましたその年の世相を表す漢字一文字、昨年は、「新」でありました。長らく続いた55年体制の崩壊による新政権の誕生、新型インフルエンザの流行、イチロー選手の世界新記録等々が大きく作用したようです。

この「新」という文字は、土浦市にとりましても、大きな意味を持つと思います。それは、今年が市制施行70周年という記念すべき年であるからです。

土浦市は、昭和15年11月3日に土浦町と真鍋町が合併し、茨城県3番目の市として誕生いたしました。戦後の苦しい時代や水害など幾多の苦難を乗り越え、市誕生時には人口3万5500人でありましたが、現在は人口14万4500人の都市へと発展、成長してまいりました。

70年の歩みは、市民一人ひとりの歴史であります。今日の発展は、多くの先人たちのたゆまぬ努力と明日への希望の積み重ねによるものであり、改めて深甚なる敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げる次第であります。

市制施行70周年を迎えることは、誠に感慨深いことではありますが、この節目を新たな歴史と伝統を刻む出発点として捉え、本市の将来あるべき姿を見据えながら、しっかりと足下を固め、市政運営に当たって参る所存でございます。

世界に冠たる平和と繁栄の国、日本は、少子高齢や国際化、高度情報化、地球規模での環境問題等々大きな流れの中にあり、戦後のパラダイムが崩壊し、新しいパラダイムを構築しなければなりません。

昨年末のニュースにおいて、国債の発行高が昭和21年以来、実に63年振りに税収を上回ることが明らかにされました。これ一つをとっても容易ならざる覚悟が必要であります。

今、「中央から地方」、「官から民」、「物から心」という流れの中で、特に地方分権への取り組みがハッキリと示されました。だからこそ、財政、人事等々受け皿となる諸問題にも耐えうる「土浦づくり」のためには、真の行財政改革が必要であり、何よりも市民の皆さんとの協働がなければ不可能なことであると思えます。

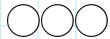
もう一度、繰り返しになりますが、満70歳を迎えた新しい年、変革の時、新しい土浦市のまちづくりに全力を尽くしたいと思います。

市民の皆様のご更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶いたします。





土浦のランドマーク



右側に(通)とある建物のところには、その後、丸井デパートが建てられました。通りの左手には、土浦のランドマークが平成9年に完成しました。その建物の名前は？

昭和30年ごろの土浦駅前通り

土浦今昔ものがたり

平成22年11月3日で、土浦市は市制施行70周年を迎えます。そこで、私たちの住む「まち」がどのように変わったのかを、昔と今の写真を見比べながら振り返ってみましょう。クイズもご用意しましたので、ぜひご家族で挑戦してみてください。

街並み



大徳商店

大国屋徳兵衛により江戸時代に開業されました。現在は「まちかど蔵」として、観光と文化の情報発信基地や土浦の特産品などを販売する観光物産館として利用されています。



藤沢宿通り(大正時代と現在)



霞ヶ浦の観光定期船

昭和初期には、外輪蒸気船に代わってスクリー船が登場し、土浦港と潮来方面を就航しました。



泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル(平成21年7月)の会場上空に飛来したツェッペリンNT号



土浦の新しい名物
ツェッペリン○○○

昭和4年8月に飛来したツェッペリン伯号の乗組員に振る舞った食べ物が、現代風にアレンジされ、土浦の新しい名物になっています。その食べ物は？



川口運動公園完成

完成して間もない、昭和31年ごろの航空写真。公園の完成に先駆けて、25年11月に市営野球場が完成し、記念行事として早慶新人戦が行われました。現在は、高校野球の試合会場のほかにも、かすみがうらマラソンのスタート・ゴール地点などとして多くの人たちに利用されています。



出
来
事



庁舎前の聖火台に点火する様子



第29回国民体育大会

昭和49年、茨城県で国体が開催され、霞ヶ浦でヨット競技、市営野球場で高校野球の軟式部が開催されました。

施設



土浦町役場

市役所本庁舎は 昭和〇〇年完成

土浦町役場は、中央二丁目にある現在の関東つくば銀行本店の場所に建っていました。
市役所本庁舎が下高津一丁目に移転して完成したのはいつ？



軍艦型の旧土浦駅舎

昭和11年10月完成。海軍の町と言われたためか、中央の時計塔の左右に伸びる屋根が、上り方面に向う軍艦の形をしています。昭和58年2月、駅ビルとして生まれ変わりました。



新治庁舎

昭和30年、藤沢・斗利出・山ノ荘の3村が合併し、新治村が誕生しました。昭和44年、現在の場所に新治村役場として完成しました。



亀城公園東櫓

東西の物見櫓は、土浦城主の西尾忠永によって元和6(1626)年から7年にかけて建築されたとされています。東櫓は明治17年3月に焼失し、市制60周年の記念事業として再建されました。



学校



昭和3年ごろの幼稚園児



大正13年に完成した幼稚園

○○幼稚園

明治18年の創立で、茨城県内で最初に開園された幼稚園の名前は？



土浦尋常小学校

明治44年、他にさきがけて進んだ西洋建築として注目を浴びた新築の土浦尋常小学校(土浦小学校)。昭和40年に現校舎が建築されるまで54年間使われました。



学校生活

(上)大正時代の小学校教室風景

土浦小学校手工室で、紙工作の指導を受けているところです。まだ着物姿の児童も多く見られます。

(左上)完全給食が始まる

戦後数年を経て、アメリカ合衆国から送られた脱脂粉乳によるミルク給食が始められました。昭和30年代になると、コッペパンとおかずが追加され、いわゆる完全給食になりました。



現在の小学校の給食

行事

昭和初期の 〇〇の桜まつり

堤防も川も数多くの人たちでにぎわいました。貸しボート屋も数軒あり、ボートを漕ぎながらの花見で人気のあった川の名前は？



消防団出初式

大正時代は、写真のような纏まといや竹梯子たけはしごも用いて消火を行なっていました。現在は、各消防団に消防車両が配備され、より迅速で確実な消火が可能になりました。



昭和40年代の七夕まつり 2



昭和40年代の七夕まつり 1

七夕まつり(キララまつり)

昭和26年から始まった土浦七夕まつり。平成2年に湖上まつりと七夕まつりを合わせてキララまつりと改称され、初めて山車が巡行しました。





真鍋小学校の桜

大正時代、真鍋小学校校庭の桜の下で開かれた祝宴会。現在、桜は樹齢100年以上で県指定の天然記念物になっています。昭和50年代の終わりごろから、6年生が新入生を背負って校庭を回る、お花見集会が開かれています。



第3回大会のときの記念撮影(前列中央が秋元梅峯師)

土浦全国花火競技大会

大正14年、神亀寺の住職であった故秋元梅峯師が、霞ヶ浦海軍航空隊殉職者の慰霊と不況にあえぐ商店街復興のために、私財を充てて霞ヶ浦湖畔で花火大会を行ったのが始まりです。現在は、土浦の秋の風物詩として全国に知られています。



鉄道

つくば〇〇〇〇
ロード

土浦～岩瀬(桜川市)間を運行していた筑波鉄道の線路跡地は、現在サイクリングロードとして多くの人たちに親しまれています。その名前は？



筑波鉄道の汽車

昭和10年ごろ、虫掛付近の田園を走るとどかな風景



筑波鉄道お別れ列車出発式

筑波鉄道は、昭和62年3月31日の運行を最後に廃止されました。当日は筑波駅でお別れ列車の出発式が盛大に行われました。

土浦の弥生時代遺跡



原田遺跡出土の地元の弥生土器
(写真提供：上高津貝塚ふるさと歴史の広場)



土浦市立博物館長
茨城大学名誉教授

茂木雅博

あけまして、おめでとうございます。恒例となりました市立博物館の館長講座もお陰さまで23回が終了し、昨年度からは市民の皆様のご要望に答えて年2回の日帰りバスツアーを開催いたしました。

大変好評で2回とも老若男女で満席の盛況でした。市民の皆様との知的好奇心を満足させることが市立博物館に与えられた使命として、職員一同努力しておりますのでどうぞ気軽にご利用いただきたいと思っております。それから皆様にお願ひがあります。民俗資料や文化財などの処分の際にはぜひ一度博物館にご連絡ください。市内の貴重な文化財を後世に伝えるために学芸員が調査に参ります。民具や文化財は一度破壊すると二度と作るこ

とは出来ませんので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて今回は、市内の弥生時代遺跡について話題にしたいと思ひます。土浦市史には茨城県の弥生時代遺跡は縄文時代の遺跡に対して極めて少なく、不明な点が多いとあります。ちなみに市内の弥生時代の遺跡は、わずかに永国地区、烏山地区、大岩田地区の3地区を紹介しているにすぎません。土浦市はその昭和55年度から57年度にかけて、市内全域で考古学上の遺跡の悉皆調査を実施しました。私はその頃茨城大学に奉職しており、教育委員会の要請で学生の協力を得て徹底的に市内を踏査して305遺跡を登録しました。特に集落遺跡と想定される包蔵地は縄

文時代遺跡167、弥生時代15、古墳時代188などに整理されました。合計が合わないのは重複遺跡が存在するからです。それにしても弥生時代の遺跡が極端に少ないことには変わりありません。どうしてこのような結果があらわれたのか、十分検討することが重要なことと思ひます。日本では考古学上の遺跡を発見する方法として、地上の場合には表面採集という方法が採用されています。それは地図を持参して、マッピングして歩くのです。そうすると、後世の耕作などで地下の文物が地表面に壊されて露出して来ます。それを採集して、記録し、地形の状況を讀んで遺跡として登録する方法が採用されています。しかしこの



原田遺跡出土の他地域系統の弥生土器
(写真提供：上高津貝塚ふるさと歴史の広場)

場合には地下深く埋没している遺跡は、発見することができません。要するに、土浦では縄文時代や古墳時代および奈良時代以降の集落が丘陵上に存在するのに対して、弥生時代はそうした立地を採用していないか、あるいは極端に人口が減少したかのどちらかと考えられます。

これら15遺跡を検討すると、すべてが集落遺跡です。特徴的な遺跡を挙げてみると、花室川流域の現在の烏山地区があります。ここは宅地造成が行われる前に、国士舘大学考古学研究室と茨城県教育委員会によって発掘調査が行われ、縄文時代から奈良時代にかけて300棟以上の住居跡が発見され、弥生時代後期の住居跡4棟が一つの単位として調査されています。

また、永国地区と土浦第三高等学校校庭に弥生時代住居跡が存在したといわれていますが、詳しくは記録がありません。さらに穴塚古墳群を昭和43年に発掘調査したところ、第1号墳と仮称した前方後円墳の下に弥生時代集落跡が確認されました。その時期は後期初頭で、その数は10棟におよび重複関係が見られることから、2時期が想定されました。しかし、墳丘下のため全面的な調査は実施されませんでした。さらに土浦第六中学校の造成の際にも、弥生時代

集落があったものと想定されます。私は昭和58年に旧郷土資料館の倉庫の中でこの土器を実見させて頂きました。特に市内で注目される弥生時代の遺跡は、今泉地区の原田遺跡では北地区で93棟、西地区で12棟の住居跡が発見されています。この集落の特徴は、各住居内から紡績用の紡錘車が前者では36棟、後者では1棟から発見されていることです。特に前者では1住居内から最大5個も出ており、約半数の17棟は複数を出しています。私は以前本紙で、土浦の古代布についてご紹介させて頂きました。律令時代の特産品である麻布は、その生産が弥生時代後期からこの地方で行われていたことを証明しています。

土浦の弥生時代は研究が大変遅れています。私たちが悉皆調査をした時点では、原田地区は荒地地で遺跡と確認することはできませんでした。その後、土浦北部工業団地造成に伴って発見され、新知見を得ることが出来ました。従来考古学の成果を整理すると、土浦の弥生文化の伝播には大きく三系統が知られています。それはこの地方の弥生土器の形態によって整理出来ます。すなわち、土浦第六中学校校庭から発見されている東海系の土器群、原田北遺跡から発見された北関東系と東北系土器

群です。こうした三系統の文化が土浦で融合していると私は考えています。紡績を土浦に伝えた文化は北関東を経て伝わり、次の時代を代表する前方後円墳は東海系すなわち上総・下総を経て伝播してきたと想定されます。

この時代の最も大きな疑問は水稻栽培の問題です。土浦の沖積地のどこかで弥生時代の水田跡を発見することが、私の長年の念願であります。必ず存在するはずであり、若い研究者の奮起を期待したい。今年はそのような夢を見ることにしました。



原田遺跡ほか市内出土の弥生時代紡錘車
(写真提供：上高津貝塚ふるさと歴史の広場)



- NEWS
夏
- ① 泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル (7月)
 - ② からかさ万灯(8月)
 - ③ 水郷プールオープン(7月)
 - ④ 土浦キララまつり2009(8月)



2009 総集編

2009(平成21)年、市内ではさまざまな楽しいイベントが行われ、広報つちうらの「まちのフォットNEWS」のコーナーで紹介しました。その1年間のイベントを振り返ります。



- ① どんど焼き(1月)
- ② ウィンターフェスティバル2009 (12月)
- ③ 土浦市消防出初式(1月)
- ④ 土浦マラソン大会(12月)





1



2



3



4

- ① 流鏝馬まつり(4月)
- ② 土浦桜まつり2009(4月)
- ③ 土浦の雛まつり(2~3月)
- ④ かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソンかすみがうら大会(4月)

NEWS
春



まちの
フォトNEWS



1



2



3



4

- ① 土浦全国花火競技大会(10月)
- ② 土浦藩關流古式炮術公開演武(11月)
- ③ 土浦新能(9月)
- ④ 土浦カレーフェスティバル& 食の地域名産品大集合(11月)

NEWS
秋

新春に詠む短歌

老人ホームの広きホールに冴え渡るピアノは謡う沢内甚句を

昔懐かしい方が入所されている近くの老人ホームへ時折おじゃまします。
広いホールのグランドピアノでその方の好きな沢内甚句を弾いて二人で口
ずさみました。とても喜んでくださり、私も幸せな気分をいただきました。

新春のやわき陽のなか幸せを呼ぶ福寿草の黄が咲き初む

新年を迎え、ふと庭に目をやると陽だまりのなか、福寿草が二輪
咲いていた。今年はいいことありそう。

裏庭に水仙・千両咲き誇るたつぷり活けて色香いとしむ

時たま裏庭で草取りをするが、年末になると千両が真赤に実の
り水仙が咲く。正月に花を活けて楽しむ。

合格点もらえるかしらと語りかけ母に供えるおせち料理を

重箱に詰められた色とりどりのおせち料理は、私にとつて遠い
母の思い出の一つです。「まだまだだね」という声が聞こえてくるよ
うです。

一年の喜び悲しみたずさえて希望をつなぐ除夜の鐘きく

長いようで短い一年、除夜の鐘を聞きつついろいろの出来事を
振り返ってみる。この一年に感謝をし、新しい年に希望をもちた
いものである。どんな世の中にあつても。

筑波嶺の裾にひろがる蕎麦の花秋かげ淡く白き風立ちぬ

筑波山にゆく途中思わず目にした光景です。白々とした花が風
に揺れていました。

初春の浦の岸辺にひかり満ち水面に鳥の群れたつを見る

霞ヶ浦の情景、大空へ羽ばたく鳥に平和と幸せを祈りて。
塚原 洋子

はつ春の朝日が照らす富士の山あかず眺めり常名の丘ゆ

お正月の早朝、家の近くの見晴らしの良い丘まで出向き、凜と
たつ富士山に挨拶する。富士のさらに彼方の故郷の皆は達者だろ
うか。どうか今年も健康で！
福原 安栄

父と子の空手着はされてベランダに不協和音のような風吹く

父親と子供の空手着が風に吹かれている。子供の成長を見つめ、
何か言葉をかけている様な光景である。
井上 秀子

滴れる葡萄白磁の皿に盛りひとり楽しむ朝の食卓

山梨から届いたという立派な葡萄を友人からいただいた。あま
り見事なので白磁の皿に、暫らく眺めていた。こんな平穏が続く
ことを願いつつ。
菊間 きみ

植物の適地が変る実をつけし蜜柑の苗木盛んに売らる

地球の温暖化が進み、暖地の産物であった蜜柑も、この辺りで
も盛んに植えられるようになった。
松崎 國男

水仙のふあーつと香るくりや辺は春のひそみし和らぎのあり

水仙の芳香はあたりに漂い、それだけで幸福感に包まれる。凜
とした春の使者であらう。
井上 寛江

吊し柿冷氣に馴染む粧ほひに剥き痕残す飴色のよし

柿を見ていますと、何となく昔のこと、故郷のことが懐かしく
思い出されます。この思いはどんな便利な時代になっても変らな
いでしょう。
市島 紀郎

冷蔵庫の扉に小さき旅の写真偶かに見れば楽しき記憶

冷蔵庫の扉に旅の写真をならべて張ってあり、時折見ますと楽
しかった旅を思い出します。
山口 節子

朗朗と百人一首を祖母よめば小さき手も伸ぶ遙けき新春

母は娘時代、和裁の先生に百人一首を学んだ。常に誦んじ、正
月には三世代が集い、子供たちも喜んで興じた想い出を懐しむ。
櫻井 雅江

みどり子を抱けばつぶらな瞳むけ話す喃語の我にやさしく

生後七か月の幼子を抱くと、清々しい目を向け、言葉にならな
い声を発して、語りかける姿が可愛い。健やかな成長を祈りたい。
大越 里子

新春に詠む俳句

大鳥居抜けて未来へ寒椿

神社の大きな鳥居の前に立つといつも改まった気持ちになる。初詣では殊更気分新たか。今年はどのような年になるのかと心弾ませる。良い年でありますように。寒椿の美しさが目に留まる。

支柱みな背丈の傷や初日射す

二人の孫が代わるがわりに支柱の前に立っては付けて行った傷跡。もう社会人と高校生ともなると、古い傷となって思い出に残る。新しい年の太陽が目映いまでにこの古傷を温めている。

元旦の薬缶の湯気の立ちにけり

何げなく毎日沸かしている薬缶のお湯。この平凡な暮らしの繰り返しも、年が改まることによる気分は一入である。水は、いつもと同じなのだが、それが新しく感じられる。

正月や王手飛車打つ子の将棋

去年覚えて本将棋。家族の誰彼となく誘ってくる。小学2年生の女の子、幼いながらもなかなかの上達ぶりである。大人ももの見事に負かされてしまう。わが家の正月の一齣である。

小魚の渚によれる初日かな

国民宿舎水郷の前に人工の汀がある。澄んだ水が砂丘の入江から入ってくる。漣が寄せてくるのも可愛い。霞ヶ浦の水を手にくい子どもも高齢者も楽しむことができる。小さな名所である。

働けるうちは働く初御空

新年の清々しい空。今年も、周りの人たちを楽にさせるよう働きますのでどうぞよろしく、という祈りを込めて見上げる。おのずと身の引き締まる心地になってゆく。頑張らなくては。

春着の子しとやかなるは小半時

娘が着たお正月の着物を孫娘に。最初のうちはポーズを決めて記念撮影などしていたが、小半時もたつとスキップしたり、走りたり。女の子とて元気が何より。健やかさを祈るばかりだ。

冬山や神の領地に荷を下ろし

今年も初登山は筑波山である。まずは筑波山神社に参拝し脇道から登り始める。凜々とした樹林帯も山頂もすべては神の領域と思えてくる。敵かきの漂うなか、心身共に清められてゆく。

新春に詠む川柳

相澤アヤ子

お神酒あげ虎に振舞う事始め

今年は虎年、その勇姿からたくさんの喻えに登場する人気者。「虎の威」「虎に翼」「虎の尾」など王者の貫禄である。例外は酔って「虎になる」こと。ほど良いトラで頑張りましょう。

佐藤てつ子

福よ来い家族揃って初笑い

朝を笑顔で迎えた日は、吉報を呼び込むことが出来るそうです。元旦の朝も一年の幸福を願い、笑い合ひ祝い膳を囲みます。

土田 信子

初詣ひまごと担ぐ大熊手

よちよちと歩く曾孫を抱いて初詣の人込みの中を神前に進むのは無理、肩車で妻のガードにより思い通り神前へ、息災、成長祈願の大熊手を肩に笑顔で家路につく。

沼尻 芳子

身の丈の分だけ拝む初詣で

あれもこれも願ひ事はたくさんあるが、欲張っても仕方ないこと、せめて身近なところで、家内安全ぐらいにしておけば、神様もきつと叶えてくれるのでは、お賽銭もそれなりに。

藤川 祐子

初日見て無神論者も手を合わす

初日の出には宗教を越えた何かが備わっている。それは絶対的な強さ、荘厳である。お正月は宗教を忘れ、とにかくめでたく祝いたいものである。

堀越喜代子

新春に一つ増えてた笑い皺

世知辛い世の中、せめて笑顔で過ごしましょうよ。また新春に笑い皺が増えてる様に。

宮本 満子

新春の家族の顔は輝いて

一月一日の朝、家族が揃い良いことがあるよう願って、見渡す顔がにこにこ輝いているように見える。

山根 延子

梯子乗り青い大空独り占め

出初式に欠かせない梯子乗りは日本古来の新年の風物詩。男の粋を梯子の上で演ずる若者が観客の熱い視線を一身に集める。その晴れやかな姿は一年の安寧を教示している様。

富永 柳道

須藤 桜花

関口 進吾

谷藤美智子

中島みさお

太田 鳴子

長井まさこ

加藤 光山

クイズの答え

街並み

土浦のランドマーク
ウララ



土浦駅前再開発ビルとしてオープンしたウララ。土浦、霞ヶ浦のうらと麗らかなのうらを含ませることで、明るく優しい温かいまちをイメージさせ、軽快な感じを出すためにLAを入れてこの名前になりました。

出来事

土浦の新しい名物
ツェッペリン
カレー



ターメリックライスに、ジャガイモをメインとした野菜ベースのルーをかけ、日本一の生産量を誇るレンコンや特製ダレで煮込んだポークなどがトッピングされたツェッペリンカレーを、ぜひご賞味ください。

施設

市役所本庁舎は
昭和③⑧年完成



市制を施行してから、旧庁舎が人口の増加や行政事務の複雑化などから手狭になったことや、木造のため建物の傷みが激しくなったため、現在の場所に移転して鉄筋コンクリート建ての新庁舎が完成しました。

学校

土浦幼稚園



土浦幼稚園は、明治18年に土浦西小学校(土浦小学校)附属幼稚園として創立されました。当時、幼稚園は全国でも30園あまりで、さらに現在まで残っている公立の幼稚園は全国でも数園しかありません。

行事

昭和初期の
桜川①の桜まつり



桜川堤の桜は、明治43年に行方郡大和村(行方市)の邊田桑蔵氏が、妻の足の治癒を大町道祖神に願をかけて全治したのを記念して桜を植えたのが始まりで、土浦の桜の名所の一つです。

鉄道

つくばりんりん
ロード



筑波鉄道の路線跡は、全長40.1kmのサイクリングロード「つくばりんりんロード」に生まれ変わりました。休日は家族連れなどが、心地よく風を切ってサイクリングを楽しんでいます。

表紙の紹介

霞ヶ浦の日の出

表紙の写真は、霞ヶ浦から見える日の出です。湖岸に昇る朝日は幻想的で美しく、元旦には多くの人たちが初日の出を見に訪れています。

日本で初日の出は、1年に一度の最初の夜明けとしてめでたいとされ、数多くの人が見物に訪れ、願い事やその年の決意などを祈ったりします。

この習慣は、明治以降に盛んになったと言われ、四方拝という天皇の元旦の儀式が始まりで、それが庶民の間に広まり、初日の出を拝むという習慣になりました。



発行 土浦市 〒300-8686
土浦市下高津一丁目20番35号 ☎029-826-1111
<http://www.city.tsuchiura.lg.jp/>
E-mail: info@city.tsuchiura.lg.jp

編集 市長公室広報広聴課

再生紙を使用しています

環境に優しい大豆インキを使用しています

次回「広報つちうら」1月中旬号は、1月15日(金)発行予定です。

人口と世帯数(平成21年12月1日現在) 14万4501人(男7万1973人 女7万2528人) 5万6692世帯